

## なばりこども宅食を運営する理由

「こども宅食」は、生活の厳しい子どもの家に、定期的に食品を届ける取り組みです。誰にも相談できず困難を抱えている親子は、名張市に約200人とされています。その「しんどい世帯」にこそ、病気や、育児鬱、ネグレクト、そして虐待など、さらなる困難に陥るリスクがあり、しっかりとサポートしていく必要があります。その中でも、行政が把握する「特にしんどい世帯」に、食品のお届けをきっかけにつながりをつくり、見守りながら、食品以外の様々な支援をつないでいきたい。ですが、「なばりこども食堂」で月1回、待っているだけでは本当に支援したい世帯に辿りつくことができません。

私たちが、食べ物を届けに家まで行くことで、「特にしんどい世帯」が抱える問題にいち早く気づけたり、安心感をもたらすことができればと思っています。

## なばりこども宅食が必要な理由

01

宅食支援があることにより、対象となる保護者や子どもと連絡が取りやすくなる。

02

宅食支援がキッカケになり、「なばりこども食堂」にきてくれる世帯もある。

03

保健師さんと連携することで、対象者が健康に過ごすためのサポートができる。

04

民間ではできないことが、行政と連携することで可能になることもある。

05

市内で増えている不登校児支援にもつなげていきたい。



## 令和3年度支援の世帯について

名張市から委託 厚生労働省「支援対象児童等見守り強化事業」

